

会 議 録

会 議 名	第四回東松山市立小・中学校適正規模審議会					
開 催 日 時	令和2年3月25日（水）			開 会	14時00分	
				閉 会	15時50分	
開 催 場 所	総合会館304会議室					
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 「子ども達にとって望ましい学習環境を考えるアンケート」 結果報告（案）について (2) 学校教育費の推移について (3) 「市立小・中学校の適正規模の基本的な方針骨子（案）」 について (4) その他 4 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数	5人		
非公開の理由						
委員出欠状況	会 長	新里 孝一	出	委 員	木村 かおり	出
	職務代理	佐藤 高志	出	委 員	江連 万徳	出
	委 員	田中 恵子	出	委 員	清水 通	出
	委 員	三村 浩男	出	委 員	山本 和順	欠
	委 員	大木 聖子	出	委 員	高野 昌枝	出
	委 員	塩原 憲孝	出	委 員	金 朝子	出
	委 員	椎名 和昭	出	委 員	中嶋 栄	出
	委 員	庭野 さやか	出			
事 務 局	教 育 長 中村 幸一			教育総務課長 阿部 康裕		
	教 育 部 長 小林 強			教育総務課副課長 柴崎 恭史		
	教育部次長 鈴木 寿			学校教育課副主幹 山本 由香		
	教育部次長 柳沢 知孝					
	学校教育課長 小林 聡					

次 第	顛 末
1 開会	(事務局開会宣言)
2 あいさつ	(教育長あいさつ) (会長あいさつ)
3 議事 新里会長  学校教育課副主幹  新里会長  佐藤委員  新里会長  清水委員	<p>それでは、議事に入ります。(1)「子ども達にとって望ましい学習環境を考えるアンケート」結果報告(案)について、事務局からの説明を求めます。</p> <p>【「子ども達にとって望ましい学習環境を考えるアンケート」結果報告(案)説明】</p> <p>議事1の説明が終わりました。何か不足しているところや、何か書かれていることが、違うのではないか、あるいは誤解を招くのではないかなど、どのような観点からでも結構です。ご意見をいただきたいと思ひます。</p> <p>4つ目の○印のところで、誤解される可能性があるので、申し上げたいと思ひます。上から3個目の「学級数が少ないと教科担当外の教員が授業を行うことになるから」というところですが、実際には教科担当外の教員が教えることはありません。学級数が少なく常勤の教科担当の専門教員がいない場合は、学校では、非常勤の教員を派遣していただいてというのが現実です。表現方法を改めていただく方がいいかなと思ひます。</p> <p>その点は訂正をお願いいたします。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>疑問というか、見解の相違があるのかなと思ひます。○印の4つ目になりますが、保護者からの「クラス替えが出来ないといじめ等があった場合などの逃げ場がないなどの意見がある」という表現です。これは、小規模校や大規模校という事に関係なく、いじめの問題です。子供たちの社会性の基礎という要素をどのように育成しているか、つまり生徒指導領域です。これは規模による弊害と考えるよりは、人間</p>

	<p>関係を醸成する能力を育成する、指導上の問題ではないかなと考えています。</p> <p>これが規模云々で取りざたされるというか、議論されるという受けとめ方は、やはりちょっと偏っているのかなとも受け取れます。その点いかがでしょうか。</p>
新里会長	<p>今のご意見ですが、クラス替えが出来ないと、いじめがあった場合逃げ場がないという意見、これはクラス替え云々問題ではないということです。クラス替えが出来る環境を強調したために、あえて書いているのではというご意見だと思います。自由記述欄を見ると確かに一つ二つはそういう意見はあるのは確かです。ただ、おそらく少数意見なのではないかと思います。事務局としてはどうですか。</p>
学校教育課副主幹	<p>皆さんからのご意見をいただいて、訂正する形をとればと思っております。ただ、全くなくしてしまうのか、どの程度入れておいたほうがよろしいのか、委員の皆様のご意見をいただければありがたいです。</p>
新里会長	<p>いじめとクラス替えの関係について、これはアンケートの選択肢には出ていない項目のコメントです。確認いたしました。全体量としては多くないのは確かです。言ってみれば少数意見なのですが、個人的には載せる必要はないだろうと思いますが、委員の皆様方がいかがでしょうか。</p>
清水委員	<p>先ほど申し上げましたが、規模や、学習環境に対して、いじめ問題は説明材料にはふさわしくない表記ではないかと思います。やはり規模の問題ではなく、指導上の問題と学校教育、家庭教育、人間教育、言ってみれば生徒指導領域の話です。こういった表記は、明文化しておく必要はないと思います。</p>
金委員	<p>私もそう思います。いじめとの因果関係というのは、絶対ではないと思います。私は、1学年1クラスの学校にいたので、人間関係が固定しやすかったです。1年生から6年生まで一緒だと、1年生の時にできた固定概念が、6年生ぐらいまですとずっと継続するのが、大きいと</p>

	<p>思います。このアンケートの中にはあまり書かれていないので、いじめとクラス替えは関係性が低く、それが絶対ではないと思います。</p>
新里会長	<p>残した方がいいというご意見の方、いらっしゃいますでしょうか。</p>
新里会長	<p>先ほど佐藤委員から出された点、それから今の点は誤解を招きやすいというということで、削除ということでいかがでしょうか。</p>
新里会長	<p>5行目からの学習人数により目が行き届きやすい。これは異論がないと思います。最初の4行半は削除ということで、いかがでしょうか。</p>
新里会長	<p>ご意見がないようなので、そのようにお願いします。 ほかに何かお気づきの点はございますか。</p>
新里会長	<p>私から意見なのですが、2つ目の○印で、最後の部分ですが、「回答者の自分自身の経験に裏付けられているものであると考える」この一文もおそらく不要であると思います。少々、主観的なものといえます。根拠はありませんが、ある意味すべての回答が経験に基づいているかもしれません。分析としてはふさわしくないと思いますので、この一文も出来れば、削除をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
新里会長	<p>また次回、お気づきの点があれば、そこを踏まえてやっていきたいと思えます。それでは議事1を終わりにして、二つ目の議事に移りたいと思えます。</p>
教育総務課副課長	<p><b>【学校教育費の推移について説明】</b></p>
新里会長	<p>耳なれない言葉もありますが、何かあればご意見、質問があればお願いします。</p>
清水委員	<p>教育費全般の割合・位置づけというのは、未来投資的な税金の使い方になると思います。 他の市町村と比較検討した訳ではありませんが、東松山市が教育に</p>

関して非常に子供たちの将来や地域の将来を考えて、教育予算をこれだけ計上して「豊かな心をもった健全な児童の育成」に資しているということ、そういった証が、教育予算の占める割合かなと一般的には受け止めて間違いないと思っています。結局、統廃合がありきではないか。統廃合は、学校の再編成があつて、子供たちが通う学校が遠くなったりします。費用対効果という認識で教育を左右しているというか、教育を論じているといった受け止め方にもつながりかねないと思います。

北部の大岡地区を例に挙げますと、地域は東松山市の都市計画関連で、農業振興地域、農振エリアという位置づけになります。これだけ豊かな自然があつて田畑があり、田畑があつても、今は有休農地や耕作放棄地になっています。また、太陽光発電等で別の問題等が浮き彫りになっています。

しかしながら子供たちは、イキイキとのびのびとその豊かな自然の中で生活し、学校に通っているのも、地元の人たちの目で見ていると、市の財政から1校当たりこれだけの予算を投じているというのは、非常にわかりやすい資料の提示でありがたいですが、ともすると統廃合で、なくなればこれだけ浮くのではないか、という話になります。子供たちの将来に未来投資をするといった東松山市の理念的なものが費用対効果的で論じられているという印象をもつ市民の方も出てきってしまうと思います。こういった背景、数値的な面での根拠は、非常に難しいのではないかなと思う反面、東松山市としては教育にこれだけ重点をおいて、予算をかけて、人材を配置しているという姿勢が示せる機会になります。市議会の皆さんの理解や、事務局、財政当局の理解があれば、少子化の問題も乗り切り、明るい東松山、豊かな東松山の将来を担う子供たちの育成にも繋がっていくという思いでいます。

新里会長

はい、ありがとうございました。

この審議会というのは何度もいいますけれど、あくまで東松山市の子供たちファースト、先ほどの冒頭の挨拶でも申し上げましたが、教育課程です。もちろん財政問題を全く無視するわけにはいきませんが、少なくともこの審議会の中での、最終的な判断の際には予算の問題はどうかという方向では方針を作りたくないと考えています。コス

	<p>トパフォーマンスとは、別のところで合意が出来ればよいと考えております。</p>
新里会長	<p>他にございますか。あくまで参考ということでまとめてもらった資料です。</p> <p>続きまして三番目の市立小中学校の適正規模の基本的な方針について事務局から説明をお願いいたします。</p>
学校教育課副主幹	<p><b>【市立小中学校の適正規模の基本的な方針について説明】</b></p>
新里会長	<p>骨子ということですので、最終的には今説明いただいた、一行一行の間に文章が入って、ひとまとまりの文書になります。項目としてどうかということ。何か不足している項目があるか、あるいは余計な項目が入っていないかなどをご指摘いただきたいと思います。</p>
新里会長	<p>事務局から説明があった通り3それから5については文科省ガイドラインをふまえた記述になるということで4番目の本市について、6番目の本市の基準を確定した上で、では基準に満たない学校をどうするか、また基準を超えている学校をどうするか、2通りあります。</p> <p>その手法については、6番に記載することになると思います。こういったことを踏まえた上で、ご指摘いただきたいと思います。</p>
田中委員	<p>「今求められている教育は何なのか」ということは、外せないと思っています。特に最初に文部科学省から示された中で、私がとっても不安だと思うところは、今求められている教育は何かということを中心に押しえたいと、で、「本市は…」と考えていく、つまりアンケート調査はもちろん大事ですが、この文章の初めにというところで、全部書ききれないかということが心配です。文部科学省から出された手引き1章(2)「学校規模の適正化に関する基本的な考え方」の中に、今どういった教育が求められているのかについての記載がありますが、学習指導要領が変わる一方で、本当に子供たちのこと考え、求められている教育について、基本方針の中に一言入れるべきではないかと思っています。特に児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い協力し合って切磋琢磨するというような、深い学びをするための学校</p>

	<p>教育や、児童生徒の教育条件をどのように整えるかというまちの考え、それから今東松山市は学校運営協議会が始まりましたので、そういった視点も踏まえて、前段に地域とともにある学校づくりの視点を持つということを押さえていただきたい。現状の前に今何が求められているのかということが、大切であると考えました。</p>
新里会長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
	<p>確かにおっしゃる通り、東松山市が小中の教育に対してどういう考えでいて、それを実現するためにこういう学校の規模にしたいという流れが、流れとしては当然です。田中委員のおっしゃったとおり、これからの事を考えるわけですから、今後東松山としてはどういう小学校教育、中学校教育を目指していくのか等、ある程度、適正規模を考える上での根拠、前提としたものを記載いただければと考えますが、いかがでしょうか。</p>
	<p>なお、これは今から考えるのではなく、すでに決まっていることだと思いますので、教育委員会でもすでにお持ちであると思うので、そのことを端的に書いてもらえれば充分でないかと思います。よろしくお願いたします。ほかにいかがでしょうか。</p>
清水委員	<p>田中委員が言われた、背景的な根拠であるとか、東松山市が義務教育の小中学校において、どういった教育理念を持って、一定の目標を定めて、どこに向かうかを示していただけるのは非常にいいと思います。適正規模という言葉ですが、これは一般的な表現だと思いますが、何が適正規模かのガイドライン・指針が、法律的なことや文科省が示す指針で、「望ましい」という形で出てきてはいます。それぞれの市町村には、それぞれの地域があり、住民意識、住民感情の地域性、それから地域の特性などの実情があります。そこを市町村の教育行政の担当者が解釈して、教育行政を進めているというところを、「はじめに」で示す必要があります。基本的理念は東松山市の小中学生、「豊かな心を持った、健全な児童・生徒の育成」といったことが、どの時代でも使われていますが、それを具現化するために学校の設置の仕方、基準を定めて学校教育の行政に資しているということ、色濃く姿勢を示していただきたい。教育に対する熱い姿勢、方針を持って、子供たちを見て育んでいるということを示していただきたい。その上</p>

	<p>で、子供たちにとって、より良い学習、より良い教育環境を用意してあげられるかは、現場の校長や教育行政の皆さんのお力にかかってきます。教育に関する熱い思い、姿勢、理念を何らかの形で知らしていただくと、具体的に必要なことや、問題が出てきて、読み取れてくると思います。教育に取り組んでいる姿勢や、熱意を示していただけるとありがたいです。</p>
<p>新里会長</p>	<p>先ほどの田中委員さんのご意見に、今の清水委員の意見を加える形でご意見も踏まえて、項目を設けて記載いただければと思います。それから適正規模という言葉は、あくまでスタンダードに使っている言葉ですので、これは国の施策等を踏まえながらやっていきたいと思っています。</p>
<p>新里会長</p>	<p>他に何かありますか。</p> <p>それでは、理念の部分を加えていただくということで、あとはこの流れでご承認いただくということにしたいと思っています。</p> <p>それでは、いよいよ本題ですが、4と6は、議論して確定する必要があります。アンケートなどをみれば、小学校の基準、中学校の基準、クラス数と1クラスあたりの人数は大体の傾向はつかめます。アンケートの最も多い回答と二番目に多い回答を見れば、東松山市の適正規模はだいたいこの位と分かります。果たして、これでいいのかという問題があります。例えば、アンケートの結果を尊重する形でこの部分はまとめるとか、具体的に細かいことは載せることはできないと思います。</p> <p>適正規模の基準のハードルが高ければ高いほど、方策等が難しくなるし、逆にあまり低すぎると具体的な方針を挙げる意味がなくなってしまいます。どのようにしましょうか。</p>
<p>教育部次長</p>	<p>事務局としてですが、この場である程度、皆様にご意見をいただいた上で、先ほど話があった東松山市の教育理念や、大きい目標をかかげることなど、具体的に肉づけしたものを次回までにお示しし、その上で皆様から再度議論していただくということで進めていければと思いますがいかがでしょうか。</p>

<p>新里会長</p>	<p>わかりました。</p> <p>議案（１）のアンケートを、もう一度ご覧いただくと学級数や学校規模、学級数とクラスの人数については、数字が出てきています。これについて、おそらく先生方も保護者の皆さんも一般市民の皆さんも大体同じような傾向を示し、相違ないところですが、これをあえて変えるか、違った方向で考えるかの選択肢もあると思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>江連委員</p>	<p>アンケートの実施と今のコロナウィルスの関係で、クラス数、学級人数は変更になる等は、まだ分からないと思いますが、教室のスペースは決まっている状態で、小学校と中学校の構造は分かりませんが、小学生は体が小さいが、中学生は大きいから席を離せなど、アンケートはコロナの前でしたので、今後このようなことを考えていくのが疑問に思いました。どうでしょうか。</p>
<p>新里会長</p>	<p>自由記述欄を読んでいたならば、小さなクラスを人数が少ないところを選択し感染拡大を防げるといった記述がありました。もちろんおっしゃる通り、そういったことは当然考えなくてはならないでしょうけれど、差し当たりそういったことを踏まえた上で考えていきたいと思えます。</p>
<p>中嶋委員</p>	<p>各学校の人数等は分かりますが、市全体の校区は分かりません。</p> <p>この校区何名、学級数何名、それから例えば、高坂小の校区・桜山小の校区とか、校区毎の地図を示していただき、現在のクラス数と人数が一目で見られると、全体的に東松山市が、どのような状態になっているのか判ると思えます。</p> <p>大岡小が、かなり少なくなっているということと、高坂小がすごく多くなっていることは分かりますが、地図上で校区を示していただければ、次に校区を見直した時に、どのようにしたらいいか参考なると思えます。</p>
<p>学校教育課副主幹</p>	<p>事務局として、白地図に校区を示したものがございます。委員の皆様様に全体の状況が分かるようなものを、次回の審議会の時にお示しできるようにいたします。</p>

<p>新里会長</p>	<p>この審議会は、具体的に学校を考えてしまうと議論が進まなくなってしまう。当然ハードルを高くすれば、小規模な学校というのは統合されてしまうかもしれないです。ですが、この委員会は、そういうことを議論する場ではなくて、あくまでも子供の教育にとって、クラス替えが出来た方がいいのか、出来なくていいのか等、基準を考えるとところです。具体的なことを考えるなどと言っても、考えざるを得ないですが、そこは分けて考えていただきたいと思います。</p> <p>アンケートの自由記述もありますが、最低限クラス替えが必要であるとか、先生が目の届く範囲の状態かとか、あくまでも教育上の観点から、意見をいただきたいと思います。</p> <p>アンケートを分析していただいた結果を踏まえて、多数派であった規模を出し、方針に盛り込み、また皆様にご審議いただき、修正するといった形にしたいと思います。今日の段階ではアンケート案を盛り込んでいくということで、ご承認いただきたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>もう一つ非常に重要なことがあります。基準が決まり基準に満たない学校をどうするか、基準をはるかに超えている学校はどうするか、その手法についてが、最後の部分です。一般的には学校区を変える、それでもだめなら統合する、あるいは複式学級を認めるとか、色々な一般論があります。大規模校であれば、学校区を見直すとか あるいは施設を拡大して対応するとか、色々なやり方があると思います。大まかなところは決めないと、次の審議会に方針の案が出来上がらないので、ご意見をいただければと思います。</p> <p>まずは、小規模化への対応から始めますが、仮にアンケートの中で1番多かった、学級数、学級人数を基準にした場合、それに満たない学校があった場合にどうするか。アンケートでは通学区域を見直しが一番多かったですが、通学区域の見直しでダメならば学校の統廃合、あるいは更に何を行うのか等について、ご意見をうかがえればと思います。</p>
<p>清水委員</p>	<p>この小規模化にしても大規模化にしても、これは東松山市の都市計画、まちづくりの構想による結果の現れではないかと思えます。</p> <p>先ほど、地域性を農振地域であるとか、居住地域であるとか意見を出させていただきました。東松山市のこのエリアは、商業エリア、居</p>

	<p>住地エリア、農業振興地域エリアといった位置づけの結果、児童数というのは一番顕著に表れます。大岡地区を例にとりますと、豊かな自然、恵まれた環境で、新たに大岡の地区を気に入って、是非住みたいという人もいますが、ただ、農業振興地域ということになると土地の購入も難しいし、もっと具体的な話をすると地目が農地となりますので、農地転用は出来ない、つまり除外申請が通らない、宅地化が出来ないこととなります。宅地化が出来るのは、例えば、大岡在住の次男の方が、分家に出るというレベルの話です。まちづくり構想、都市計画そのものがこういった結果を招いていると思います。</p> <p>家を建てさせない、流入人口が少ない状況でなっているので、子供が増えない。このあたりから学校の小規模化や大規模化を議論していかなければならないと見ているわけです。項目だてを、もう少しひねることは難しいでしょうか。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>清水委員おっしゃることは、私も分かります。</p> <p>私も小規模校であった学校に勤務したことがあります、地域の方達は、そのような思いを持っていると聞いております。</p> <p>ただ、市当局に地区の活用をお願いすることなどを方針に盛り込むということは、この審議会での審議ではないと思います。</p> <p>あくまでもより良い教育の在り方とか、こういう規模だったらば、レベルの高い教育が出来るのではないか、あるいは子供同士のコミュニケーションとか、私たちがこの審議会で審議するのは教育の根本的なところ、ベストな教育環境について議論するものだと思います。</p> <p>そういった中で、国でも具体的な学級数で言えば小中学校ともに、12～18学級ということだと思います。この審議会の中で、確認して、先ほど会長がおっしゃったように、現状でどうしたらいいのかを考えていければいいと思います。</p> <p>まずは、アンケートで、学級数と通学距離、1学級あたりの人数とかを基本方針で出していければいいと思います。</p>
<p>新里会長</p>	<p>そのような方向で話し合いを進めていければと思います。</p> <p>自由記述欄ですが、「桜山小と白山中を狙い撃ちにしているのではないか。」という記述欄もありますが、あくまでも佐藤委員のおっしゃったように教育的な観点からお考えいただきたいと思います。</p>

金委員	<p>特認校によって、うまく子供たちを誘導することができるか、塩原先生にお聞きしたい。</p>
塩原委員	<p>現在、特認校で通っている児童・生徒が40人位いますが、大半が高坂小校区から来ています。他地区からは、遠い所だと松二小校区の生徒が来ていますが、多少問題等も出てきています。問題点は駐車場がかなり手狭になってきていること、保護者の体調が悪いとその生徒が必然的に欠席になってしまうことです。例えば高坂丘陵地区を中心にコミュニティスクールとか地域の行事を実施していますが、住んでいる場所が関係してきます。現在住んでいる近所の友達との関係とかは少し心配になります。実際のところ、さほど他地区が増えていることはないです。高坂の生徒が来ているというのは、西本宿やあずま町の生徒で、同じ高坂地区ということで、桜山小や本校に来たということでした。特認校を導入して、他地区の生徒数が増えると、逆に先ほどのような状況から家庭訪問も思うようにできないとか、そちらの弊害の方が大きいかなと心配はしています。</p>
新里会長	<p>意外なほど特認校の評判がよろしくなくて、具体的にやっている白山中に対して、ちょっと意外でしたが。</p> <p>進め方と申しますか、基準に満たない学校に対して、区域の見直し、統廃合、これを抜くわけにはいかないと申します。単刀直入に申し上げて、東松山市の進め方として、基準に満たない小さな学校が出た場合に、それに対して複式学級、そして特認校を認めるかどうかということが、最大の争点になってくると思います。方針に入れない、やらないとなれば、それはクリアになるわけです。逆にそうでない場合は、それなりの理由も必要になってくるわけです。まず複式学級は前回のアンケートの時に、たくさん議論いただきましたが、東松山市の地域で、小さい学校があった場合に、適正化するために複式学級を認めるかどうかという点に関して、ご意見をいただければと思います。特に特認校に対する意見等を話し合えればと思います。</p>
新里会長	<p>文科省のガイドラインによると複式というのはあくまで例外的です。へき村であるとか島であるとか、その地域の地域生活に不可欠であり、その学校がなければ地域住民の生活が成り立たないというくら</p>

<p>清水委員</p>	<p>い、重要性がある場合は別であるとなっています。東松山市の場合は、複式についてどう考えていくのか、複式を方策の手段として認めるかについて、ご意見を伺えればと思います。</p> <p>複式学級と特認校制度というのは、あくまでもおっしゃったように例外的であり、学校を守る地域における役割というのは、非常に重要な要素だだと思います。つまり、地域にこの学校があるということは、地域社会全体に対しても、教育や文化の情報発信基地であります。子供たちを通して、親が集い、親が集うということは、住民も集います。学校は子供たちを取り巻く地域コミュニティの場です。公民館的ではないですが、地域コミュニティを醸成する、形づくる上で欠かせない要素という捉え方が出来ます。これを前提に推し進めていくと、「どんな方法があるか」となったら、複式学級でとなります。教育課程の編成は難しいと思いますが、複式学級で代用できると思います。また将来、規制緩和などによって、住宅地が増え住民が流入し、人口が増えれば児童数も回復することが、ないとは言い切れないと思います。</p> <p>この地域で学校が持っている役割といったことも、この審議会は子供にとってのより良い教育環境のために、事務局が知恵を絞られていますので、そこを語る上で地域における学校の役割というのも引き離せない項目だと思います。そういった観点からもこの審議会で、地域が持っている学校の役割を、前提条件として触れてもよいのではと考えます。</p>
<p>新里会長</p>	<p>清水さんのご意見としては、複式学級というのは方法のひとつとして残しておくという考えでよろしいでしょうか</p>
<p>清水委員</p>	<p>はい。</p>
<p>田中委員</p>	<p>複式学級を経験しているということで、ここに参加させていただいていると思いますので、この経験のもとに意見を述べさせていただきます。</p> <p>私が経験した小さな学校は、人数が少なくなったので、一旦統合いたしました。多分休校という形を取ったのではないかと思います。地域の学校、萩が丘ですが、子供のために、3校が1校になりました。</p>

わが村の、地域の学校でしたが、子供たちがちゃんと関わりを持てるようにしてほしいので、統合して欲しいと見えました。現在、その統合された学校は、また小さくなっています。

退職してから幼稚園に勤め、今の職になってから、皆様の大切な税金で、学校運営ができると、とても感じています。学校は大きくても小さくてもやはりお金がかかります。小さな学校に行って、大きな学校と同じだけの設備を整えてもらっているから、守らなければいけないと思いました。清水委員がおっしゃるように、地域はわが地域の学校と思っています。ですが、やはり再編することは子供のためだったらよいのでは、という声をよく聞きました。今現在、小さい学校が狙いというわけではなく、全部を押しなべて、すべての学校を、先ほど会長がおっしゃったように、均等割りにしたらいいのではないかという案を出すのも、審議会の役目かなと思います。校舎とかも、重要になってくると思います。以前、出された資料に、校舎の修繕等の資料がありました。今の職になってから議員さんに、「このお金はこのように大事に使うように」などと、市の財政の用途を教えてくださいます。校舎はあと何年で修繕が必要でお金がかかる、という見通しがあると思います。ただ、再編をしたときに、そのようなことを視野に入れないと、新築した場合、教育環境が整えられるかということになりますので、踏まえてやっていかなければと思います。

私が勤めた学校は昭和の60年代建築の学校でしたが、耐震済ではありませんでしたが、いつまで使用できるのかと思います。市町村によっては全部作り直して、1校にしたということもあります。思い切って考えていかなければいけない部分もあると思います。複式学級を体験して複式の大切さもわかりますが、やはり市としては教育の機会均等という視点を考えると、複式学級を方策の手段として認めるのは、市では無理かなという部分も考えざるを得ないと思います。

金委員

私も同じような考えです。私は川島幼稚園もやっていますが、何日か前に川島の保護者と話しました。ずっと見てきた子が、5年生になった時、学校が統合しましたが、統合して5年、6年の2年間はすごく楽しかったと言っていました。何が楽しかったかというと、統合前の1年生の時は5人でした。縦割りはすごく行っていますが、統合して同じ学年で25人位になりました。これが、やはり中学に行くとき

	<p>の大きな励みになったと言っておりました。子供は良かったですが、お母さんは他の地域二つが統合するとやり方が違うので、保護者会にしても何にしても、すごく違和感があったとのことでした。ただ、子供が楽しくやっているから親はそれを考えていかなくてもいけないと思い、ずいぶん気持ちが変わってきたと言っていました。</p> <p>あと、湯沢町に行きますが、湯沢町は湯沢学園という三國小とかを全部統合し、学校を一つにしました。ある時、校舎はないですが元三國小に、桜の写真を撮りに行った時、地域の人がいて話しましたが、やはり、一緒になるときは、我が学校ということですからすごく悩んだそうです。しかし、統合する前は、児童が3人位しかいなかったのですが、統合されたら子供たちが、変わったと言っていました。</p> <p>いい面もあると思いますが、必ずメリットとデメリットもあると思います。でも、東松山としてどう考えるかということが一番で、子供がやはり一番いい方向に、というところを視点に考えていったらいいのではないかと思います。</p>
<p>新里会長</p>	<p>ありがとうございました。他にどうですか。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>適正な規模と、かなり離れた極論から言うと、例えば、複数学級があった場合には、望ましい教育活動というのが子供たちも体験できなくなるような環境でないかなと思います。複式学級が一つだったら何とか地域のコミュニティを考えたところで、残してもいいかなと思いますけど、二つを超えるとそういった状況じゃないといったところでも、判断してもいいのかなと思います。</p>
<p>新里会長</p>	<p>そのほかにご意見ございますか。東松山市が地域の特性を考えて、ある意味で例外的な複式学級を認めるかどうか、あるいは地域における学校の重要性という観点と、子供たちにとって複式学級がいいのかという観点、それを考える場ですが、今すぐ結論を出すということは出来ません。そろそろ時間ということもありますので、本市については、1番から5番までは、本格的な方針案を作るため、ここまでは文章化していただけることになると思います。</p> <p>論点は非常に明確になってきていると思います。6番において複式学級を入れるかどうかということです。次回検討するといったところ</p>

<p>新里会長</p> <p>学校教育課副主幹</p> <p>新里会長</p>	<p>で、進めたいと思うのですが、今の段階でいかがでしょうか。</p> <p>いろいろご意見もあると思いますので、また次回の時にお考えを示していただければと思います。それから大規模化への対応というが書かれていますけれども、これも次回併せていきたいと思います。</p> <p>続きます、議案4その他について事務局何かありますか。</p> <p><b>【今後のスケジュールについて説明】</b></p> <p>それでは以上をもちまして本日予定されていたすべての議事を終了いたします。議長を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
<p>4 閉 会</p>	
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和2年10月5日      署名委員 <u>江連 万徳</u></p> <p>署名委員 <u>木村 かおり</u></p>	